

愛知県地域医療計画における新基準病床数（案 1）について

平成 20 年 3 月 31 日付け健感発第 0 3 3 1 0 0 1 号による厚生労働省健康局結核感染症課長通知「医療計画における結核病床の基準病床数の算定について」の一部改正について」に基づき算定する。

「医療計画における結核病床の基準病床数の算定について」の一部改正について  
平成 20 年 3 月 31 日  
健感発第 0331001 号

全県を区分として次に掲げる式により算出した数

A：本県の 1 日あたりの「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第 19 条及び第 20 条の規定に基づき入院した結核患者の数

B：「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第 19 条及び第 20 条の規定に基づき入院した結核患者の退院までに要する平均日数

C：区域における年間新規患者（確定例）発生数の区分に応じて定められた係数

年間新規結核患者数	係数
99 人以下	1.8
100 人以上 499 人以下	1.5
500 人以上	1.2

D：1

ただし、重症結核、季節変動、結核以外の患者の混入その他の区域の事情に照らして 1～1.5 の範囲で知事が特に定めた場合はその係数

E：本県の慢性排菌患者のうち入院している者の数

算定式：A×B×C×D+E  
=1.81×55.8×1.2×1.14+0  
=138.16=138.2

＜比較＞

○ 指数

	23 年 3 月時点	28 年 3 月時点	30 年 3 月時点
A	1.96	2.00	1.81
B	71.2	64.0	55.8
C	1.2	1.2	1.2
D	1.28	1.16	1.14
E	3	2	0

○ 基準病床数

医療計画（23 年 3 月）	医療計画（28 年 3 月）	医療計画（30 年 3 月）
218 床	183 床	138 床

＜計算の内訳＞

指数	数値	数 値 の 説 明
A	1.81	1 日当たりの法第 19 条及び第 20 条の規定に基づき入院した結核患者数 28 年 県全体で 660 人÷365 日=1.81
B	55.8	法第 19 条及び第 20 条の規定に基づき入院した結核患者の退院までに要する平均日数 28 年 県全体で 36,832 日÷660 人=55.8
C	1.2	区域における法 12 条第 1 項の規定による医師の届出のあった年間新規患者（確定例）発生数の区分に応じ、それぞれに定める係数 28 年「1,270 人」 500 人以上→1.2
D	1.14	1 ＊ただし、重症結核、季節変動、結核以外の患者の混入その他の区域の事情に照らして 1～1.5 の範囲で知事が特に定めた場合はその係数 季節変動 26 年から 28 年までの病院報告 3 年 1.14=3.428÷3 年 年平均 261.165、271.104、281.159
E	0	本県の慢性排菌患者のうち入院している者の数 26 年から 28 年までの患者の平均とする

○現在の入院患者数との比較について

患者数の推移は若干の減少傾向にあり、1 日の最大勧告入院患者数は、26 年は「160 人」、平成 27 年は「114 人」、平成 28 年「120 人」であった。

そのため、基準病床数案の「138 床」は、入院が必要な患者の受入れには、支障ない状況と考える。